

保育所入所児童の募集

関・湯原保育所では、保護者および同居の親族等が労働に従事したり、何らかの理由で家族において保育することが出来ない児童を、家庭の保護者にかわって心身ともに健やかに育成することを目的に、平成21年4月から入所する児童を次のとおり募集します。

<募集人員>

関保育所 50名
湯原保育所 30名

<募集期間>

1月15日(木)～1月23日(金)
ただし、平成20年度保育所入所申込みの際、平成21年3月31日以降の入所決定を受けた児童の申込みは不要ですが、家庭状況届が必要となります。

<保育内容>

保育時間は、平日は8時から概ね1日8時間、土曜日は12時まで保育することを原則としていますが、保護者の労働時間、その他の状況を考慮し、延長保育が可能です。
延長保育は、朝については7時45分から、夕方は18時まで予定しています。
保育年齢は、関保育所では、1歳児から5歳児、湯原保育所は、施設の関係で3歳児から5歳児とさせていただきます。詳しい内容についてはご相談ください。

<保育料>

町保育所費用徴収規則により、関保育所は前年の住民税額及び所得税額等を基に定められており、湯原保育所については定額です。

<提出書類>

入所申込書および平成20年分の給与所得の源泉徴収票などを保健福祉課または各保育所に提出してください。(申込書は、保健福祉課および各保育所にあります。)

<入所決定>

2月中旬までに文書で通知します。

<施設見学>

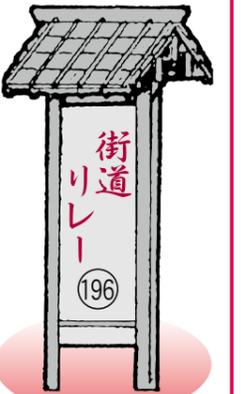
保育所での保育の様子や施設の見学を行いたい方は、1月13日から1月15日(9時30分～10時30分)までの期間に限り、希望の保育所においてください。

問い合わせ

関保育所 TEL 37-2052 または 保健福祉課 TEL 37-2114



「感謝する心を忘れず」



滑津
安藤千佳子 さん

新年明けましておめでとう
ございます。日頃お世話になっ
ている皆様へ。本年もよろしく
お願い致します。私も昨年40歳
になりました。これまでを振り
返ってみてつくづく思うことは
自分を中心にして生きてきたよ
うに考えます。簡単に言えば自
分勝手なようなことです。
でも振り返るとそんな自分
ではダメだと気付きました。
私は1人では生きていけま
せん。家族の支えがあり、職場
では皆さんにお世話になり、近
所の方々にも助けられて、今現
在、暮らしているのだと思
います。
私には2人の子供がいます。
上の子は20歳になり、現在、
埼玉県で暮らしています。毎月
仕送りをしてくれるお父さんと
ばあちゃんに毎日感謝して生活

してくれていると思います。
下の子は6年生で、春に中
学生になります。昨年の秋、捻
挫してしまい、かなりシヨック
を受けました。でも、この時不
自由な足と心を支えてくれたの
は友達と先生でした。
このような出来事があり、初
めて私達を気付かせてくれるの
です。心の中で、すごくありが
とうと言いつつ、その気持ちをす
と忘れずに、自分の今後生活し
ていく中でどう生かせるか？相
手の立場となって考えてくれる
ように。考えていけるように。
40歳からまた頑張ります。
感謝する心を忘れずに。

次回は、高橋航さん(湯原)
にリレーされます。

シリーズ23

仙台・宮城デスティネーションキャンペーン



新たな年を迎え、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年の観光振興については、皆様方にご提案やご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

また、昨年には仙台・宮城デスティネーションキャンペーンが展開され多くのお客様が七ヶ宿を訪れ、「見て・食べて・会話して」いただきました。

〇見て部門

長老湖・やまびこ吊り橋周辺の遊歩道を散策するお客様が、昨年は今までになく多く感じられました。週末になると長老湖駐車場があふれるほどの賑わいで、特に長老湖一周コースの遊歩道とやまびこ吊り橋までの遊歩道を歩く中高年のお客様が紅葉の七ヶ宿を楽しんでいま



〇食べて部門

お客様の感想をご紹介します。
「横川近くの長老湖は蔵王近郊で一番のお気に入り紅葉スポットです。」
「長老湖のバックに雪の蔵王がそびえ立ち紅葉とのコントラストがとても美しい」
「七ヶ宿ってどこを見ても綺麗です！」
嬉しいですね、これからも自然景観を大切に、なおかつ活用していきたいと思

す。
今回の仙台・宮城DCでは「七ヶ宿にそばあり」というイメージが広がっているようす。
これからは、現在のお土産品等を含め、新たな「七ヶ宿のうまい物」を発掘し、魅力ある町を目指して行きたいと思

〇会話して部門

昨秋は、そば組合各店大賑わいで、仙台近郊・福島県・関東地方の多くのお客様に七ヶ宿の新そばを味わっていただきました。
やはりお客様は「食」に関心があり食べてみたいと思えば遠方からもお越しいただいております。
また、町民の皆様が治道まで出ていただいて手を振っている姿が見えて、「感謝・感謝」の気持ちでいっぱいです。
まさに素晴らしい「七ヶ宿のおもてなし」を実施していただき協力有り難うございました。

★観光宣伝(DC)の これからの取り組み

2月7日 駅からハイキング
「水守の郷七ヶ宿かんじき履いて銀世界へGO」

問い合わせ

七ヶ宿町観光協会
TEL 37-12177

町内の企業紹介⑬

七ヶ宿の白炭 佐藤光夫・円

〒989-0500 七ヶ宿町字俣ノ台 100-2 TEL/FAX 37-3156

個人事業で白炭を焼き、販売しています。原木の伐採、搬出、製炭、梱包、販売までしています。

炭焼は山の緑を保ちながら続けていける持続可能な営みです。

木のいのちを預かるような気持ちで炭を焼いています。

炭の力を借り、自然が、私たち人間が、少しでも癒されればと願っています。

メールマガジン「山日誌七ヶ宿から／炭焼と自然生活」(ほぼ週刊)を発行していますので、興味ある方はホームページからのぞいてみて、よければ購読の登録をしてください。

※原木山(ナラが多い山)を探しています。ご紹介ください。

URL <http://ww5.et.tiki.ne.jp~hakutan7sato> E-MAIL hakutan7sato@mx5.et.tiki.ne.jp